

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—



ポケットあわじ



鯉恋 およぐ 島の節句



VOL.192

もくじ

P1 東桃川菜の花と鯉のぼりの里祭り P2 みたから公園鯉のぼり・節句飾り1 P3 炬口神社の甲冑・節句飾り2 P4 菖蒲湯・花菖蒲と鯉・節句飾り3 P5 初節句がいっぱい！ P6 淡路文化会館・兵庫県淡路県民局・くにおみ協会からのお知らせ P7,8 淡路の文化活動・イベント情報



淡路・東桃川の山里に 大空を泳ぐたくさんの鯉のぼりたち・

春本番となった静かな田園風景を彩る菜の花、そして大空を泳ぐ鯉のぼりが訪れる人々の心を和ませてくれます。ふれあい館前から谷の上を泳ぐ約120匹の鯉のぼりは圧巻です。当日は地元の太鼓「くにおみ太鼓」のアクションが行われます。また、地元の農産物やつきたてのよもぎ餅などの販売やふるまいもあり、とても好評です。なお、鯉のぼりは5月5日のこどもの日まで元気よく泳いでいます。

淡路島の西海岸、サンセットラインを走り、淡路市江井地区に入るとどこかお線香の香りが漂ってきます。桃川交差点を山側に入って行きましょう。看板を目印にほんの5分ほど走ると、穏やかな青い瀬戸内海が展望できる山里へ到着します。

ここ淡路市東桃川地区の「鯉のぼり谷渡し」が、今年も4月24日～5月5日の期間に行われます。また、4月29日には「菜の花と鯉のぼりの里祭り」が「東桃川ふれあいの館」で行われ、多くの人々で賑わいます。あわじ花へんろ第34番花の礼所になっている「花の村」東桃川花木公園もあり、四季の花々が咲き、果樹も植栽されていて癒しのスペースとなっています。

今年で17回目で、主催は東桃川町内会・村おこし協議会です。同会の中尾さんを訪ねてお話を伺いました。①始めたきっかけ…敬老会の集まりで地域の知名度を上げるのに何かできないかということがきっかけとなった。最初の頃は何もかも手探りで苦勞をした。②17回も続いている理由…中心になる人がいて、まとまりがあり引き継いで行く体制ができている。町内会、老人会、村おこし協議会が一つになり、地域のまとまりの基礎となる活動となっている。③参加者について…他府県から手伝いに来ている「村おこしの会」などや、40～50人のスタッフのうちの女性のがんばりが大きな力となっている。④特徴(売り)…3月下旬に鯉のぼりを取り出し、修理をし、取り付ける準備をする。谷の長さが220mもあるので、準備が大変である等々。「懐かしい自然 支えあう喜び 東桃川」「子や孫の 明日を拓く 村おこし」というスローガンがふれあい館の前に掲げられていますが、この「鯉のぼり谷渡し」はびったりの取り組みです。



220mの谷に
120匹の鯉が泳ぎます！

鯉のぼりは、中国の故事が元となって「男の子の出世を願う」意味や池や沼などでたくましく生き抜く鯉のたくましさをもって育ててほしいという願いが込められています。中淡路の山里を訪ね、大空を元気に泳ぐ鯉たちに出会いに来ませんか。きっと大きなパワーをいただけると思います。

(応援隊: 中田 浩嗣)

場 所: 淡路市江井東桃川地区 東桃川ふれあい館
淡路市江井
連絡先: 東桃川町内会・村おこし協議会
中尾 啓さん
淡路市江井2730-2
電話番号 0799-86-1549

みたから公園鯉のぼり



春ランマンフェスタ IN 堺



〽屋根より高い鯉のぼり〽 5月5日の端午の節句が近づく頃になると、あちこちの家の庭先で悠々と泳いでいる鯉のぼりを見ることが出来ます。そんな中、地域の活性化と地域の子どもの健やかな成長を願ってあげているという数十匹の“集団鯉のぼり”を見つけました。場所は、洲本市五色町下堺のみたから公園周辺。菜の花畑とさくら並木を背景に、青空の下、太陽の光を浴びた大小様々な鯉のぼりが、まるで滝をのぼる本物の鯉のように元気一杯泳いでいました。その鯉のぼりを、みたから公園内に設置された“逆さの世界のぞき台”で覗いてみると、まさに“鯉の逆立ち”を楽しむこともできます。

地域の夢と希望を乗せて
大空を舞う鯉のぼり



ぜんざいや
菜の花の天ぷらの
振る舞いがあります！



お餅つき！

「逆さの世界のぞき台」から
“鯉の逆立ち”を見てみよう〜



この“みたから公園鯉のぼり”は、地元の住民団体『堺活性化委員会』が、地域の人口減少に歯止めをかけようと、2009年から始められました。毎年4月上旬の日曜日には、“春ランマンフェスタ IN堺”と称して鯉のぼりを愛でながら餅つきをしたり、ぜんざいや菜の花の天ぷらの振る舞い、野菜の販売などが行われています。どれも皆人気で、地域外からもたくさんの方が訪れ賑わっています。また、当日は子どもの名前が書かれた『子供提灯』も飾られ、イベントを盛り上げています。熱心に取り組む地域の皆さんの熱い思いや努力が報われたのでしょうか、去年は堺地区に定住促進住宅が完成し、市外から18組の家族が入居されたとのことです。きっとこれからも“みたから公園鯉のぼり”は、地域の夢と希望を乗せて大空を舞ってくれることでしょう。

《応援隊：瀬戸 由美子》



子供提灯

春ランマンフェスタ IN 堺
【開催時期】毎年4月上旬の日曜日
10時～14時(雨天中止)
【場所】みたから公園周辺(洲本市五色町下堺)
【問合せ先】橋本富夫(堺活性化委員会会長)
〒656-1336洲本市五色町上堺136
TEL.fax 0799-35-0468

淡路島の作家さんがつくった節句飾り



鯉のタペストリー

淡路市仁井
内海信子
様作の
柿渋染



鯉のぼりのプレート



淡路市釜口の好去好来窯
松本ひづる様作の兜の焼物

元気いっぱい楽しもう 端午の節句

以前は「♪トヤねよりたーかーいこいのぼり♪」と歌われていたように、どの地域に行っても青空にお腹いっぱいのおいしい空気を含んだこいのぼりが元気よく泳いでいました。6月5日前後(5月5日の端午の旧節句)には子どもも大人もワイワイガヤガヤ楽しみながら、ちまき、いばらもちを作り、夜は菖蒲風呂に入って一年の健康を願うのが6月初旬の行事でした。よしの葉、いばらの葉の蒸しあがった時の香りがとても食欲を注ぎ、またお風呂での菖蒲の香りもアロマ的で一日の疲れも吹っ飛びました。

最近では、子どもも大人も忙しい毎日を過ごし、そのような余裕を楽しむ時間がないのが少し気の毒に思います。時間の余裕のある私たちの出番かな？と思い、できることだけでも続けようと思っています。

(応援隊：廣岡 ひろ子)

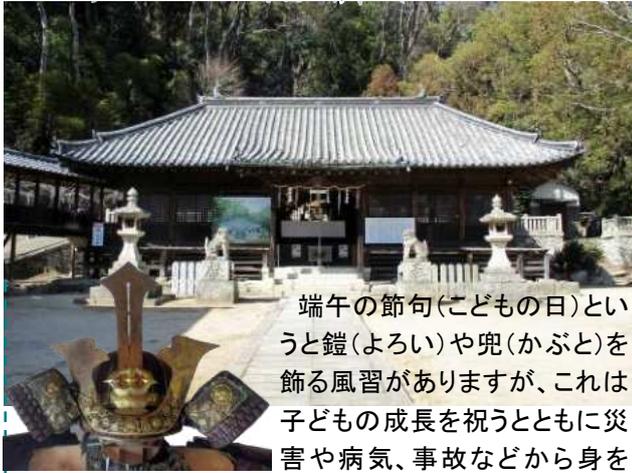
たけのくち

かっちゅう

炬口八幡神社の甲冑

国の重要文化財

新田義貞が
着用していた甲冑



端午の節句(こどもの日)というと鎧(よろい)や兜(かぶと)を飾る風習がありますが、これは子どもの成長を祝うとともに災害や病気、事故などから身を守ってくれますようにとの願いが込められているようです。



濱口 禧寛宮司

その鎧や兜などの甲冑で「国の重要文化財(1950年以前の旧制度では現在の重要文化財に相当するものすべてが国宝と称されていた)」に指定されているものが淡路島にあります。それを所蔵しているのが洲本市にある炬口八幡神社です。

濱口禧寛宮司によると「この甲冑は、戦国時代の1527年に炬口城主の安宅(あたぎ)駿河守吉安が、新田義貞が着用していた甲冑を炬口八幡神社に奉納したものと伝えられています」と話されていました。

取材ということで特別に収蔵庫の中を見せていただきましたが、甲冑はガラスケースに大切に納められていました。鎌倉時代から南北朝時代に活躍した新田義貞が着用したという約700年前のものだけにところどころに傷みがあり、それだけにとても歴史を感じさせる立派な兜や鎧でした。この甲冑は炬口八幡神社の春と秋の祭りの日に一般公開されています。その祭りは毎年3月と9月の第4日曜日に開催されているそうです。皆さんも国指定の重要文化財であるこの歴史ある甲冑を見に行ってみませんか。(応援隊:田処 壺久、原 薫)



炬口八幡神社 洲本市炬口2丁目13-17 電話 0799-22-4902



廣岡家

わが家自慢の鎧・兜



三宅家



豊久家



菖蒲湯

尚武と勝負、そして菖蒲

5月5日は子どもの日、そして端午の節句です。柏餅やちまきなどの食べ物も有名ですが、「菖蒲湯」も有名です。端午の節句は別名「菖蒲の節句」といわれ、本来は菖蒲が主役の厄払い行事です。



端午の節句に欠かせない菖蒲

古来受け継がれてきた行事を紹介します。

昔から端午の節句の日は、春から夏への季節の変わり目とされており体調を崩したりしやすいものでした。そこでこの日には邪気を払う薬草としても知られていた菖蒲を入れたお風呂に入ったり、束ねた菖蒲を軒先につるして無病息災を願ったりしたのです。菖蒲は「尚武」「勝負」に通じることから江戸時代から武家の間で男児の出生を祝い出世を願うことにも結びつき、端午の節句には欠かせないものとなったのです。菖蒲の花はちょうど端午の節句の時期に咲きます。アザロン、オイケノールといった精油成分が多く含まれ、菖蒲を入れたお風呂に入ることによって腰痛や神経痛を緩和する効果があるようです。また、菖蒲の強い香りはリラックス効果もあり、疲れた体を癒すのに効果があるとされているのです。



リラックス効果あり〜



5月5日は菖蒲湯にはいりましょう



この風習、皆さんの地域ではどうですか？今も残っていますか？応援隊が子どもだった頃、(昭和の中頃)頭に菖蒲を巻いて菖蒲湯(菖蒲を束にしてお湯に浮かべます)に入り、翌日はその菖蒲を屋根(軒先のひさしなど)に放り上げる。そんな習慣があったものですから、我が家でも子どもたちが小さかった頃、子どもの日に菖蒲湯をしたものでした。最近では12月のゆず湯ほどおなじみではありませんが、5月5日の子どもの日に、健康を願い強い子に育てて欲しいというのは今も昔も変わらない願い。今年の端午の節句は菖蒲湯を楽しんでみませんか？ (応援隊:村上 紀代美)

パルシェ香りの湯、ウエルネスパークゆーゆーファイブでも菖蒲湯が体験できます。どちらの湯も子どもの日の頃、実施されます。詳しくは各HPをご覧ください。

☆パルシェ香りの館・香りの湯(淡路市尾崎) 0799-85-1162 ☆ウエルネスパーク五色・ゆ〜ゆ〜ファイブ(洲本市五色町) 0799-33-1601

5月は菖蒲湯
6月は花菖蒲を見に行きませんか？



淡路文化会館に花菖蒲が咲きほこり

鯉およぐ

淡路文化会館の池には、赤いハート形の模様をした鯉がいます。なんか幸せになれそーな気がします。(見方によりますが)見つけに来てみませんか？5月にかけて菖蒲も咲き、池の横の藤の棚もきれいな花を咲かせます。初夏の心地よい季節、どうぞ文化会館にお越しください。

ハート鯉を見つけたら
幸せになれるかも・・・♡

ハート型模様の鯉



鯉のぼりや兜のモビール



作ってみよう！

子どもたちと楽しんで作った鯉のぼりや兜の折り紙をモビールにしてみました。

応援隊:坂本作

折り紙で節句飾り



日本折り紙協会講師
中谷まゆみさん作

あわじの初節句

端午の節句。淡路島では初節句のお祝いに、近所の人へお祝い菓子を配る習慣があります。結婚した時にも、ご近所にお祝い菓子を配ったり、お祝いのお返しに渡したりします。それと同じですね。私は、子どもが一人目の時にしました。お祝いを頂いた方に、節句用に販売されている焼き菓子の詰め合わせを贈りました。

初節句には、五月人形と鎧の武具飾りを飾りました。実家の両親から鯉のぼりを贈ってもらったので、鯉のぼりも揚げました。節句の日は、ちらし寿司と鯉のぼりクッキー、いびつ餅やちまきも食べてお祝いをしました。

いびつ餅はかしわ餅のことですが、包む葉はサルトリイバラが使われています。これも淡路島独特のもので、地域によって、お祝いの仕方はそれぞれですが、子どもが健やかに育ってほしいと願う気持ちは同じだと思います。

端午の節句はゴールデンウィーク中なので、島内でも様々なイベントが催されることと思います。お出かけするのもいいですが、家族揃って、楽しい日が過ごせるといいですね。 (応援隊: 三宅恵理子)



初節句にはお菓子や赤飯を贈ります。



淡路では節句にこれをいただきます。



泰功くん



初節句には、柏餅とちまきをお贈りました。

初節句は家族揃って盛大にお祝いしました。



みてみてー
うちの子の初節句



甲太郎くん

はりこ
張子の虎

長男が強たくたくましく生きていけるようにとの願いをこめて張子の虎を飾りました。



応援隊田処さん姉作



節句気分を盛りあげる
キルトや絵手紙
絵手紙: 緒方 信子さん (日本絵手紙協会公認講師)
あわじ花の歳時記園 (観光農園) 運営





淡路文化会館からのお知らせ

郷土資料の提供

淡路文化会館では、淡路地域に関する図書・郷土資料の収集、ならびに郷土芸能等を住民の皆様のご協力を頂き収集及び映像記録(DVD化)し、広く皆様に資料提供を行っています。

	市	数	内 容	年度
1	南あわじ市	1	五尺踊り	H17
	淡路市	2	恵比寿舞	H17
2	洲本市	3	長林寺つかいだんじり	H18
		4	柴燈	
		5	鳥飼八幡宮舟だんじり	
3	洲本市	6	下内膳の火踊り	H19
	南あわじ市	7	沼島八幡神社春まつり	
	淡路市	8	事代主神社水かけまつり	
4	南あわじ市	9	阿万風流踊	H20
	淡路市	10	石屋神社秋まつり	
5	南あわじ市	11	八木八幡神社神踊り	H21
6	淡路市	12	草香八幡神社遣いだんじり	H22
7	洲本市	13	由良湊神社夏越祭り	H23
8	南あわじ市	14	賀集八幡神社春祭り	H24
9	洲本市	15	巖島神社弁天祭り	H25
10	淡路市	16	伊勢の森神社春まつり	H26
11	南あわじ市	17	津井春日神社「的射の儀」	H27
12	淡路市	18	五斗長垣内遺跡	H28
13	洲本市	19	由良湊神社 春季大祭 「ねり子祭り」	H29



兵庫県淡路県民局からのお知らせ

消費者月間記念講演会 参加者募集

平成30年度消費者月間では、様々な主体が当事者としてそれぞれの役割について考え、行動していただくためのきっかけとなるよう「ともに築こう 豊かな消費生活 ～誰一人取り残さない～」を統一テーマとし記念講演を行います。

日 時：平成30年5月24日(木) 14:30～16:00
 (淡路消費者団体連絡協議会総会終了後)
 場 所：淡路市多賀600 県立淡路文化会館 講堂
 講 演：健康体操「+10分(プラス・テン)エクササイズ」
 講 師：(公財)兵庫県健康財団
 健康づくり部参与 亀澤 徹郎 氏
 事前のお申し込みは不要です。この機会に、是非ご参加ください。

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課
 (消費者センター)
 ☎0799-26-3360 📠0799-24-6934



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1
 ☎0799-24-2001 📠0799-25-2521
 HP:<http://www.kuniumi.or.jp/>

花街道づくり事業

島内の国道・県道沿いの10㎡以上の花壇(休耕田も含む)を継続して維持管理できる個人や団体に対して、植栽費や維持管理費、花壇整備費を助成します。

募集期間 平成31年2月28日☎まで随時募集。

応募方法 当協会から申請書をお取り寄せいただき、申し込んでください。(申請書は当協会HPよりダウンロードも可)

第33回「あわじ花と緑のコンクール」写真募集

対象者：島内で四季折々の花と緑を大切に育てている個人、学校、事業所、グループ

審査部門：①家庭・ガーデニング②学校・学園③職域・事業所・その他④コミュニティ

応募締切：7月31日☎ ※当日消印有効

応募方法 当協会から申請書をお取り寄せいただき、申し込んでください。(申請書は当協会HPよりダウンロードも可)



◆淡路市立アソンプレホール

所 〒656-2401 淡路市岩屋2942-17
 ☎0799-72-5321 F 0799-72-5322
 休 月曜日(祝日の場合は翌日)

健康体操

日 5月12日⊕、19日⊕、26日⊕
 時 10:00~11:00 会 アソンプレ
 ホール・岩屋体育センター
 料 ¥1回500円(各回に持参ください)
 回数券5枚つづり2,300円

◆南あわじ市滝川記念美術館
玉青館

所 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
 ☎0799-36-2314 F 0799-36-5408
 料 ¥大人300円、高大生200円、小中
 生100円※小中生は「ココロンカ
 ード」又は「のびのびパスポート」の利
 用で入館無料 休 月曜休館

平成30年度 館蔵品展 I

日 4月6日⊕~
 時 9:00~17:00(入館は16:30まで)

平成30年度 玉青館「友の会」
会員募集中

【会費】年額1,000円
 【申込み方法・会員特
 典】詳しくはお電話でお
 問い合わせください。



◆淡路人形座 5月公演

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
 ☎0799-52-0260 F 0799-52-3072

引き裂かれる親子の情愛 「阿波十」
 嫉妬に狂う女の情念 「日高川」

定時公演

日 詳しい日程はお問い合わせください。
 時 10:00、11:10、13:30、15:00
 休 毎週水曜日

①「人形解説」
「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

料 ¥大人1,500円 中高生1,300円
 小学生1,000円 幼児300円

②「人形解説」「戎舞」

料 ¥大人1,000円 中高生800円
 小学生600円 幼児200円

※上演時間・内容が変わる場合あり

【ゴールデンウィーク特別企画】

「日高川 嫉妬石鱗」

天田堤より渡し場の段」

恋する男を想うあまり嫉妬に身を焦がし
 蛇体となって川を渡る。

時 4月28日⊕~5月6日⊕ 10:00、11:10

【今月のトピックス】

怪談でお馴染み いちま〜い にま〜い
 お菊の怨念「播州皿屋舗 青山館の段」

5月26日⊕ 開場18:30 開演19:00

◆兵庫県立淡路夢舞台温室
「奇跡の星の植物館」

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
 ☎0799-74-1200 F 0799-74-1201
 時 10:00~18:00 (最終入館17:30)

音楽イベント

★子供ミュージカル(11:00、
 15:00) ★オペラ(11:45、
 15:45) 日 5月3日⊕~5月5日
 ⊕ 料 ¥大人600円、70歳以上(要証
 明)300円、高校生以下無料

プリザーブドフラワーアレンジ教室

日 5月3日⊕~5月5日⊕
 料 ¥体験1,200円~ (要入館料)

屋外ローズガーデンオープン

日 5月7日⊕~6月10日⊕ 料 一般
 600円 ※植物館とのセット券有

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
 ☎0799-72-2000 F 0799-72-2100

チューリップ&ムスカリの
球根掘り体験

掘った球根は、お一人様20球まで
 お持ち帰りいただけます。

日 5月12日⊕~13日⊕
 時 13:30~15:30 場 大地の虹花
 壇 料 ¥参加費無料(別途入園料、
 駐車料金必要) ※雨天中止

お花のつみとり体験

日 5月19日⊕・20日⊕
 時 ①13:30~15:30 場 ポプラの丘
 花畑 料 ¥参加費無料(別途入園
 料、駐車料金必要) ※雨天中止

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎0799-74-0250 F 0799-74-0256
 時 10:00~18:30

休 木曜日/祝日(木曜日が祝日の場合は
 翌日)

コンサート情報

MAYU KISHIMA WITH FRIENDS
 ~バイオリンスト木嶋真優 室内楽
 コンサート~ 日 5月12日⊕
 時 15:00~17:00(14:30開場)
 料 ¥一般2,500円 学生、70歳以上1,000
 円 ※学生(小学生~大学生・専門学生)
 ※PASS CLUB会員は各券200円引き

教室

子供ミュージックベル教室

日 5月7日⊕ 21日⊕ 時 16:30
 ~17:30 会 練習室 料 ¥500円/1回
 対 幼稚園児及び小学生 ※初心
 者でも大歓迎

◆淡路島短編映画祭2018

問い合わせ
 淡路島短編映画祭2018実行委員会
 近藤 ☎080-2439-1746

日 5月13日⊕ 時 10:00~17:30
 会 洲本オリオン 料 ¥無料
 淡路島ゆかりの監督・俳優が作る
 映画を約40作上映。島の人におく
 るイベント、今年で4回目!

インフォメーション



◆淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
☎0799-85-1391 ☎0799-85-0400
時9:00～17:00 観覧無料

第48回淡翠会書展

日5月4日㊦～13日㊦ 美術展示室・県民ギャラリー

写淡四季・フォトあわじ 合同写真展

日5月22日㊦～6月10日㊦ 展示室・県民ギャラリー



◆洲本市文化体育館

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 ☎0799-25-3325

○第76回淡路美術協会公募展

日5月3日㊦～5日㊦

無料 会議室1A

○横山幸雄ピアノリサイタル

日5月12日㊦ 時14:00開演

¥SS-8,000円 S-6,000円
A-5,000円 B-4,000円(全席指定)
(未就学児の入場はお断り申し上げます)

文化ホール『しばえもん座』

○Salon Concertメゾソプラノ 阪口千鶴～母の日に寄せて～

日5月13日㊦ 時14:00開演

¥1,500円(飲物付) 会議室1A

○写淡四季・フォトあわじ 合同写真展

日5月17日㊦～20日㊦ 10:00～18:00 無料 会議室1A-2.3

淡路花祭2018春開催中!

日時: 3/17(土)～5/27(日)

会場: 国営明石海峡公園ほか淡路島全島

料金: 散策自由(一部有料)

詳しくは「淡路花祭」ホームページへ

【問】(一財)淡路島くにうみ協会

TEL0799-24-2001

FAX0799-25-2521

◆洲本市民工房

〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-22-3322

十の会テーマ作品展

「波」をテーマにした絵画、立体などの作品展

日5月19日㊦～27日㊦※24日㊦は休館日 時10:00～17:00

(19日は12:00から27日は16:00まで)

3Fギャラリー 鑑賞無料

◆洲本市民交流センター

〒656-0054 洲本市宇原1788-1
☎0799-24-4450 ☎0799-24-4452

アワジネイチャーフォトクラブ写真展

日4月29日㊦～5月31日㊦

時9:00～21:00(最終日は16:00)

休月曜休館 全館無料

観覧無料

花づくり講習会講師派遣事業

(一財)淡路島くにうみ協会

島内の団体が実施する花づくりの講習会に対し、講師を派遣します。

募集期間: ~6月15日㊦まで

実施対象期間: 7月1日㊦～平成31年2月28日㊦

対象団体: 5人以上の島内花づくりグループなど

応募方法: 申請書を取り寄せ申込みください。

問合せ・申し込み先 NPO法人あわじ緑花協会

TEL 0799-42-5111 **FAX** 0799-42-5151

編集だより

周りの山々には新緑が映え、桜もチューリップも咲き終わりましたが、ポケットあわじがカラーになって一年余り、白黒との違いは大きく特に3月の雛祭り、4月の桜、瓦の上で鎮座しているお雛様の衣装との色合い、この目で見て来ましたよ。今月は明石海峡公園で4/28～5/6鯉が泳いでいますよ! 上ばかりに気を取られず足元にも注意して進んで下さいね。いってらっしゃい!

(応援隊: 岡 まさよ)

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約230カ所に無料配布しています。フルカラー印刷開始から1年が経ち皆様からご好評をいただいております。今後も生活情報誌として、豊かな情報をお届けしたいと思っております。ご愛読よろしくお祈りします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。淡路文化会館のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。(発行) 淡路生活創造応援隊 淡路文化会館・淡路文化会館運営協議会 ☎ 656-1521淡路市多賀600 ☎ 0799-85-1391 ☎ 0799-85-0400 E-mail: a-pocket@hyogo-ikigai.jp Web: <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

私たちはポケットあわじを応援します。

